

令和4年度 大館市立山瀬小学校 学校評価書(前期 (年度))

A 学校教育目標

ふるさとに学び、未来を拓く児童の育成

B 本年度の重点

発想力を高め、つながりを強めて、共感的協働力・実践力を育てる
 ～ たけのこの里で ぐんぐん伸びる たけのっ子 T・T・S(つながり 確かめ シンカする)で確かな学力を ～

○夢を育てる地域に根ざしたふるさとキャリア教育の推進 ○夢の実現に向かう確かな学力の向上
 ○夢を支える豊かな心の育成 ○夢を支えるたくましい体の育成

C 学校経営の特徴

学校経営の基本方針

- 子どもたちがふるさとのよさを知り、ふるさとを大切に思いながら、高い志を抱く学校づくり
- 一人一人の子どもが、自信をもち、充実感を感じて学習や活動ができる学校づくり
- 教職員個々が使命感をもって実践と研修を重ね、子どもの人権を尊重し、学力や様々な可能性を伸ばす学校づくり
- 全校児童・全教職員が心をひとつにし力を合わせ、家庭や地域と連携・協働できる学校づくり

夢をもち、
やさしく、まじめに、
せいいっぱいがんばる子

目指す児童像

- 夢をもち
 - ・夢や目標に向かって粘り強く努力する児童
- やさしく
 - ・自他を大切にし、思いやりの心をもった児童
- まじめにせいいっぱい
 - ・自分の役割を果たし、基礎・基本となる学力を身に付けた児童

目指す学校像

- ・一人一人が認められ、「心の居場所」がある学校
- ・明るく、活気に満ちた学校
- ・児童が生き生きと楽しく学べる学校
- ・地域と連携、協働し、地域に開かれた学校

目指す教師像

- ・子ども一人一人を尊重し、温かく支える教師
- ・生徒指導の機能(自己有用感、共感的人間関係、自己決定)を生かし、子どもを育てる教師
- ・授業力向上と研修に励む教師
- ・家庭、地域と協力し合い、信頼される教師

経営の重点事項と具体的な取組

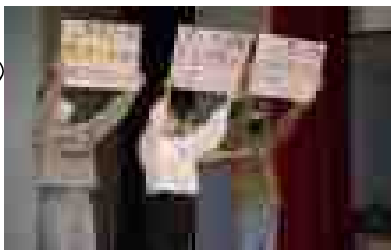
1 ふるさとキャリア教育の充実	2 確かな学力の向上	3 豊かな心の育成	4 たくましい体の育成
・地域の「もの・ひと・こと」を活用した多様な体験活動の展開 (たけのこプロジェクト～栽培活動・たけのこ和紙作り・ふるさとを歩こうデー等～) ・創立60周年を迎え、地域や学校の歴史、伝統文化等を学ぶ探究活動の展開 ～60周年記念プロジェクト～	・基本的学習習慣、学習規律の確立(次代を担う田代の子～学習の約束～の徹底) ・基礎的、基本的な学力の定着 ・主体的に学び高め合う学習指導(やませっ子学びのスタイル)の推進「つながる場」「たしかめる場」「シンカする場」の充実	・元気な挨拶と返事や整理整頓、時間を守る等の基本的な生活習慣の定着 ・議論することを通して道徳性を育む道徳科の充実 ・思いやりの心を育む特別活動の推進 ・豊かな心を育む読書活動の充実	・体力テストの結果を生かした効果的な体力づくりの推進 ・運動の楽しさや喜びを味わいながら、知識や技能を身に付ける体育学習の充実 ・望ましい健康な生活習慣を確立する食育、保健教育の推進
学習規律の徹底と生徒指導の機能を高めた学級経営が基盤			

かいなを組み、OJTを通して学び合い、同僚性を高める「チームやませ」

学校間・家庭・地域との連携

- OPTA活動 ○田代中学校区小・中連携研究会 ○地域学校協働活動 ○田代地域学校協働支援チーム ○福祉教育推進事業
 ○たしる保育園との連携 ○学校評議員会 ○学校関係者評価委員会

ふるさとに学ぶ



【創立60周年記念集会】

つながりを強めて、
共感的協働力・
実践力を高める



【3年ぶりに6年生が直接販売した「やませっ子マーケット」】

令和4年度学校評価一覧(年度)

学校名(大館市立山瀬小学校)

学校の重点	◇夢を育てる地域に根ざしたふるさとキャリア教育の充実	発想力を高め、つながりを強めて、共感的協働力・実践力を育てる ～たけのこの里でぐんぐん伸びるたけのこっ子 T・T・Sで確かな学力を～ つながり たしかめ シンカする
	◇夢の実現に向かう確かな学力の向上	
	◇夢を支える豊かな心の育成	
	◇夢を支えるたくましい体の育成	

評価区分(達成度)
 きわめて良好(100%以上)
 良好(80%以上達成)
 おおむね良好(60%以上)
 やや不十分(60%未満)
 努力を要する(40%未満)

大館市立山瀬小学校 人間の基礎力・キャリア教育 未来・大館市民実践力の育成	評価項目		自己評価A	学校関係者評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I 自主的・自立的な生活	規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	1 基本的生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもった挨拶と落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごとの「挨拶運動」、小中連携「挨拶運動」、民生委員との合同挨拶運動、運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けての自立プラン～」の徹底	3
II 思いやりの心たくましい心	自他を大切にし、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	良好	良好	3 思いやりの心の育成	(2) つながりを強めて、夢や目標に向かって努力する機会の実現	・夢を育む環境づくり(職員室前に全校児童の夢の掲示、各学級に一人一人の目標掲示) ・「たけのこプロジェクト」(たけのこの皮集め・和紙作り、農園活動、収穫、販売)、「60周年記念プロジェクト」(記念集会へ向けての発表、先輩からの講話)による目標に向かう力を育む取組	4	
					(3) 自他を大切にし、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート ・教育相談の実施 ・道徳科の充実 ・授業での振り返りの実施 ・互いを認め合う学級づくり ・帰りの会での「今日の○○さん」の紹介	4	
III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	良好	良好	4 健康と体力の向上	(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・「花丸ニュース」・縦割り活動 ・異学年(学団)交流 ・人権の花運動・比内支援学校との交流(2、4年)・「思いやりの木」の掲示	4	
					(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読) ・屋読書の工夫(図書室の活用、図書室へ行くこぼし) ・読み聞かせ活動の充実	3	
IV 基礎学力	意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	良好	良好	5 確かな学力の育成	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・業間等の体力づくり(マラソンタイム、なわとびギネス、鉄棒ギネス) ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4	
					(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動(給食だより、昼の放送) ・食育タイム ・手洗いの励行(手洗いブラックライト体験) ・健康花丸チェック ・メディアコントロール週間の実施	4	
V 安全・安心	児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	良好	良好	6 安全教育と安全管理の徹底	(8) 基本的学習習慣の徹底	・「次代を担う田代の子～学習の約束～」の徹底 ・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化(手引きの活用、自学紹介コーナー、自学花丸デー、自学ノート展、自学を見合う会)	4	
					(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的、計画的な繰り返し指導(ドリル学習、百マス計算、百マス計算大会、新聞ワークシート、ミニテスト、辞書引きコンクール等) ・個に応じた指導の工夫(TT) ・表現力を高める取組(やませっ子発表会、各種コンクール作品応募等)	4	
					(10) つながりを強めて、主体的に学び合う学習指導の充実	・基本的な学習スタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのこっ子タイム)の設定と充実 ・学習リーダーの育成	4	
VI 保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	7 地域の教育力の活用	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団登校指導、避難訓練(火災)、煙体験教室の実施 ・生徒指導部だより「すこやか通信」の発行 ・地区児童会(危険箇所確認等)	4	
					(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携 ・危険箇所確認及び看板設置、街頭指導	4	
VI 保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各便り(学校報、学年通信、保健便り等)の発行、HP ・行事等におけるメール配信	4	
					(14) 地域の「もの・ひと・こと」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施(農園収穫、稲刈り、舞茸栽培と販売、たけのこ和紙作り、クラブ活動、ブルタブ・アルミ缶回収、収穫物とたけのこ和紙しおりを販売した「やませっ子マーケット」、学校の歴史や地域の文化財等を地元の方や先輩から学ぶ体験学習)	4	

ア
児童の状況

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	学校評価Bの評価基準	5 4 3 2 1	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成 実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成 実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成 実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成 実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成
--------------------	---	------------	-----------------------	---

I 自主的・自立的な生活

児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	子どもたちのヒアリングから自分たちの良いところは挨拶と言っていた。地域ではそうでもないとのことだが、学校では最高に頑張っているのだと思う。地域に出て挨拶できる、明るさを振る舞ってくれることを子どもが意識して取り組むこと、先生方が捉えている課題の克服に向けて取り組んでほしい。「たけのこプロジェクト」では、子どもたちが成果を感じるのはこの後だということなので、目標に向かう力を伸ばしてほしい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	挨拶には子どもによって差があるので、より多くの子どもが挨拶できるように取組をお願いしたい。60周年をいっきかけに地域学習や講演会ができ、「10歳を祝う会」などつながりを大事にした取組を行った。今後も子どもに夢を与える学習に地域の人材を活用してほしい。
学校の評価改善の概要と	【前期(一年度)】〇挨拶運動の取組によって、朝の玄関前や校内での挨拶はよいが、地域によっては学校外での挨拶が足りないとの声があった。昨年度も同じようなことがあり、地域の人たちへ場に応じた挨拶ができるように、集会でロールプレイング的な取組を行ったが、今年も2学期に実施したい。廊下歩行については、運営委員会による「廊下歩行運動」の後、落ち着いた歩行できるようになってきたので継続させたい。〇児童一人一人の目標を掲示しているが、学期ごとの具体的な目標を設定し、それに向かって努力させたい。2学期も収穫活動やたけのこの和紙作り等で、地域の教育力を活用し、つながりを強めた活動を充実させながら目標に向かう力を育んでいきたい。			
	【年度(一年度)】〇挨拶については、保護者や地域の方々から、良いのとあまり良くないという声両方届いている。積極的に元気な挨拶をしている児童とそうではない児童があり、今後は一人でも進んで挨拶ができる児童を増やしていきたい。〇「たけのこプロジェクト」は、特に農園収穫、販売等の目標に向けて児童が精一杯取り組むことができた。「60周年記念プロジェクト」では、児童が学校の歴史や地域の特色等を調べる学習を行い、記念集会で発表することができた。記念講演では、先輩の小笠原豊氏から、夢の実現には努力が必要という講話をしていただいた。夢や目標に向かって必要なことを学ぶ学習は、今後も継続していきたい。			

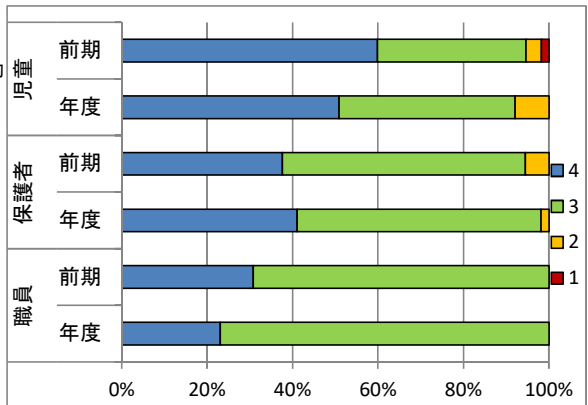
	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1	基本的な生活習慣の確立 (1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごと、小中連携「挨拶運動」、民生委員との合同「挨拶運動」、運営委員会「廊下歩行運動」の実施・「次代担う田代の子～夢の実現に向けた自立プラン～」の徹底 ・夢を育む環境づくりに全校児童の夢や目標の掲示 ・「たけのこプロジェクト」(たけのこ和紙作り、農園収穫活動、販売)「60周年記念プロジェクト」(記念集会へ向けての発表、先輩からの講話による目標に向かう力を育む取組	3	3
2	夢に向かって努力する資質・能力の育成 (2) つながりを強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実		3	4

【各種データ】 ■職員 □保護者 ◎児童 (アンケート:4段階評価 4が最もよい) ★実践事項

[1]に関するデータ

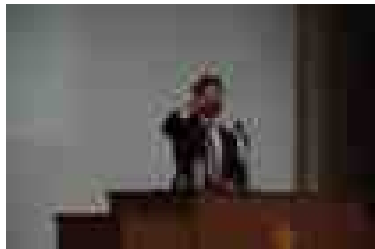
- ★ 児童会による挨拶運動の実施
 - ・児童会と学年ごとの挨拶運動 5月、9月 ◎「あなたは、明るく元気で心のこもった挨拶をし、落ち着いた学校生活をしている。」
 - ・児童会による学年二人ずつの挨拶名人の紹介
 - 「全校集会」での生徒指導主事による「家から学校まで元気な挨拶」の呼び掛け
- ★ 田代地区小中連携挨拶運動 6月、10月 中学生と一緒にの挨拶運動(次代を担う田代の子「笑顔であいさつ」)
- ★ 少年保護育成委員の方々と合同挨拶運動11月
- ★ 運営委員会による廊下歩行運動→安全で落ち着いた校内生活へ
- ★ 職員全体で児童への挨拶、廊下歩行等の言葉掛け

※少年保護育成委員との本校運営委員による合同挨拶運動の様子

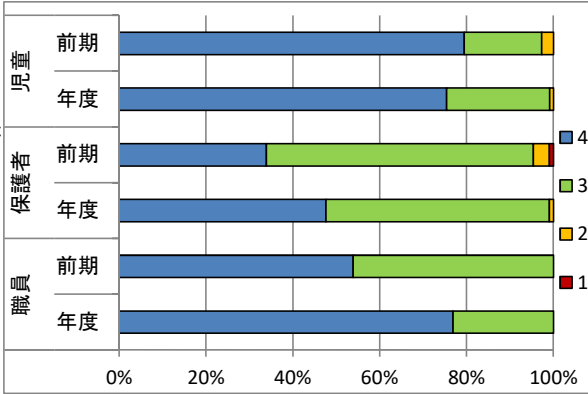


[2]に関するデータ

- ★ 夢に向かう力を育む取組(ふるさとキャリア教育)
 - 〇職員室前廊下の夢の掲示と各学級に一人一人の目標掲示
 - ・顔写真と一人一人の夢の掲示、めあてカードの掲示等
 - 〇行事や委員会・係などと関連させた取組
 - ・毎月の月目標設定(学団ごと)
 - ・目標に向かって努力する取組と振り返り～例:やませっ子発表会、「10歳を祝う会」(4年)、各プロジェクトの実践
 - 〇「たけのこプロジェクト」 たけのこ和紙作り、農園収穫活動、販売活動
 - 〇「60周年記念プロジェクト」
 - ・記念集会へ向けて、学校の歴史や地域の特色等を調べる学習、発表
 - ・先輩から夢に向かって努力することの大切さを学んだ「記念講演会」
- □ 「つながりを強めて、夢や目標に向かって努力する機会が充実し、目標に向かう力を育む取組がなされている。」
- ◎ 「あなたは、夢や目標をもって、友達と力を合わせて毎日の生活をがんばることができましたか。」



※60周年記念集会での講演会「後輩に伝えたいこと」(小笠原豊氏)



ア 児童の状況

II 思いやりの心・たくましい心																	
児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント														
自他を大切に、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期	良好	良好	ヒアリングで生徒指導主事の方から不登校が0ということで、ここに「つながり」とか「思いやり」が出ていると思う。花丸ニュースや縦割り班の活動、ヒアリングでは6年生が下学年をフォローしていたが、日々の生活の中で下学年の面倒を見ることをやられている。スポ少や宿題、共働き等で家庭で読書する時間が難しいようだが、読書に対する興味・関心を高める取組をお願いしたい。													
	年度	良好	良好	子どもからのヒアリングでは、いじめなどはなく仲が良いと、子どもが満足しているように感じた。花丸ニュースや思いやりの木も良い取組である。図書室へ行くこぼり活動は、借りた本の数によってしおりをもらえるのがよかった。おとり号で町の図書館を活用している子どももおり、今も図書室から本を借りようとして来た低学年が見られ、いい傾向にある。													
学校の評価改善の概要	【前期(一年度)】○定期的ないじめアンケートや全職員での子ども観察から、児童の実態把握に努めている。各学級では、子どもが安心して学校生活を送れるよう、お互いのよさを認め合う活動をしている。また各学級で「道徳コーナー」を設置しながら、道徳科の指導の充実を引き続き図っていききたい。○縦割り活動の集団登校で5・6年生の班長が1・2年生の面倒をよく見てくれる姿が目立った。また人権の花運動の協力校として、花や作物を育てる活動を通して、思いやりの心の育成に努めていきたい。○学校では、屋学習の時間を設定し、読書や読み聞かせを行っている。また、週末に本を借りて家庭で読書する「うち読」を行っているが、スポ少等で忙しい児童もおり、学校で少しでも読書できる時間を確保していききたい。																
	【年度(一次年度)】○いじめアンケートの結果から、いじめを訴えている児童の聞き取りをし、いじめが続かないよう指導を行っている。また状況においては保護者とも連携して対応している。今後もいじめが起きない互いに認め合う学級づくりを推進していききたい。○「思いやりの木」を掲示し、友達から親切にされた行為を紹介している。また、昼の放送「花丸ニュース」でも友達の良い行いを紹介しており、友達や自分の良い行いを知ること、さらに思いやりの心を広げていきたい。○読書に関しては、図書委員会が10月から行った「図書室へ行くこぼり」のカード使用が人気で、特に中学年の児童が図書室から本を多く借りることができた。今後も図書室を利用したくなる取組を継続していききたい。																
評価指標	実践課題		主な取組	学校評価B													
3 思いやりの心の育成	(3)	自他を大切に、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施 ・道徳科の充実・互いを認め合う学級づくり	4	4												
	(4)	つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・花丸ニュース・縦割り活動・異学年(学団)交流・人権の花運動「思いやりの木」の掲示	4	4												
	(5)	豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読)・屋読書の工夫(図書室へ行くこぼり)・読み聞かせ活動の充実	3	3												
[各種データ] ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項																	
[3]に関するデータ																	
<ul style="list-style-type: none"> ★児童観察と教育相談 <ul style="list-style-type: none"> いじめアンケート後の個人面談 長期休業中の全保護者との個人面談、スクールカウンセラーの活用 ★児童を語る会・いじめ不登校対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> 児童の様子を把握し、適切な指導ができる校内体制と関係機関との連携を協議 ★道徳科の充実 <ul style="list-style-type: none"> 物事を多面的、多角的に考えられる指導方法の工夫、道徳コーナーの設置 ★互いに認め合う学級づくり <ul style="list-style-type: none"> 授業での「振り返り」の発表後の認め合い 善行をお互いに認め合う、帰りの会での「今日の○○さん」の紹介 																	
[4]に関するデータ()は前期																	
<ul style="list-style-type: none"> ■ □ 「思いやりの心を育てる特別活動を推進している」 ◎ 「あなたは、友達と協力しながら、縦割り班活動に取り組むことができましたか。」 																	
◎ 児童→ 十分達成(87%) 87% おおむね達成(11%) 11% やや不十分(2%) 2% 不十分(0%) 0%																	
■ 保護者→ 十分達成(42%) 42% おおむね達成(55%) 57% やや不十分(3%) 1% 不十分(0%) 0%																	
□ 職員→ 十分達成(38%) 54% おおむね達成(62%) 46% やや不十分(0%) 0% 不十分(0%) 0%																	
★思いやりと奉仕の心を育てる取組の具体例																	
○花丸ニュース ○縦割り清掃活動 ○ペットボトルキャップ、プルタブの回収 ○大館市子どもサミットへの参加 ○人権の花運動																	
○児童会による「いじわる0運動(標語募集)」 ○異学年交流授業(学団) ○比内支援学校との交流(2、4年) ○「思いやりの木」の掲示																	
[5]に関するデータ																	
★読書の奨励																	
<ul style="list-style-type: none"> ・屋読書の時間の設定(図書室へ行くこぼりの活用)、家庭での読書の奨励と設定(うち読) ・読み聞かせ会の実施(図書委員会・たしろドリームライブラリー・谷地の平出身の森山里望さん) 																	
■ □ 「子どもたちに読書の習慣が身に付いている。」 ◎ 「すすんで読書ができましたか」																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>前期</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>						評価指標	前期	年度	児童	4	4	保護者	3	3	職員	2	2
評価指標	前期	年度															
児童	4	4															
保護者	3	3															
職員	2	2															

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	子どものヒアリングからマラソンタイムを頑張っているとのこと、体を動かすことが好きな子が多いのではないかと。先生からのヒアリングで「健康花丸チェック」の就寝時刻に間に合わない子が結構いるようである。必要な睡眠時間を確保することが大事であり、子どもや共働きの家庭の実態に合った就寝時刻になるよう、検討してほしい。
	年度	良好	体力テストでは、学年が上がると高くなっている。スポ少活動や運動する機会が多くなったこともあると思うが、鉄棒ギネスの活動などを行い、6年間を通して体力がつい流れ、方向に向かっている。適切な食習慣・生活習慣形成には、保護者の協力もあって、子どもが規則正しい生活を意識して定着している。
と学校評価の備の善概要	<p>【前期(一年度)】〇5月の運動会に向けて、持久走練習や短距離走に意欲的に取り組むことができた。運動会後は「ふるさとを歩こうデー」に向けての体力向上として、マラソンや「やませっ子なわとびギネス」に業間の時間挑戦し、なわとび運動もがんばることができた。昨年度の新体力テストの結果から、県平均並みの体力があり、さらに向上できるよう取り組んでいきたい。〇1学期は養護教諭による歯磨き教室を全学年に実施できた。また、栄養教諭による「食育タイム」で食育指導を定期的の実施し、2学期も継続する予定である。またメディアコントロール週間を設定しながら、電子メディアの適切な使用時間や望ましい生活習慣形成を図っていきたい。</p> <p>【年度(→次年度)】〇体力づくりの試みとして、初めて鉄棒を取り入れた。鉄棒ギネスを行い、子どもたちは意欲的にギネスカードについている鉄棒技に挑戦していたので、来年度も継続していきたい。〇これまで田代地区小中合同で実施していた学校保健委員会を今年度は各校で行うことになり、11月に開催した。健康診断やメディアコントロール週間の結果について、学校医から助言を今後の指導に生かしていきたい。食に関する指導では、栄養教諭から大館ワンだふる給食に使われている地元食材について全校児童が学ぶことができた。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・業間等の体力づくり(マラソンタイム、なわとびギネス、鉄棒ギネス) ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4	4
	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動・手洗いの励行・食育タイム ・健康花丸チェック・メディアコントロール週間	3	4

[各種データ]

■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

[6]に関するデータ

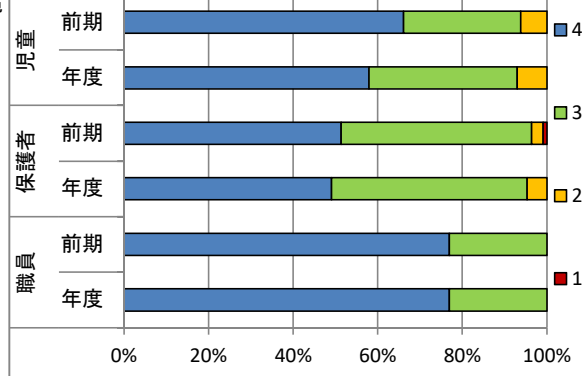
★ 体力づくりの取組

- 〇マラソン運動、なわとびギネス、鉄棒ギネス～業間、昼休みに実施
 - ・カードの活用と掲示により、めあてをもたせ意欲を高めている。
 - ・強調月間の設定
- 〇体育委員会による縦割り班遊び(鬼遊び)の実施

※新ギネスの鉄棒ギネスに挑戦する子どもたち



- □ 「子どもたちは外遊びやスポーツに親しみ、体力づくりに努めている。」
- ◎ 「あなたは、体育の時間や業間に(マラソンなど)進んで運動しましたか。」



★ 新体力テスト

- 〇実施日 ・5月中旬～6月上旬
- 〇実施種目
 - ・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ
- 〇実施結果の配付(個人票) 1学期

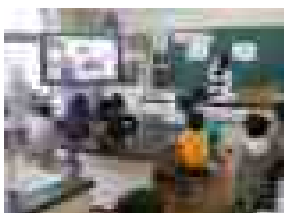
<昨年度の体力テストの結果>

R3新体力テスト	学年	現小2	現小3	現小4	現小5	現小6
県平均を100としたときの指数	体力得点 男	87.6	104.7	120.5	108.5	108.5
	体力得点 女	90.8	96.1	111.3	107.4	111.3

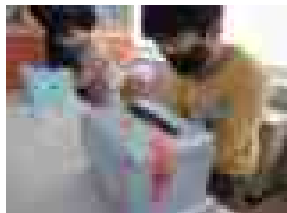
※3年度の体力テストの結果からは、特に高学年が良好である。今年度の結果は年度末であるが、体力の向上を図る取組を継続していく。

[7]に関するデータ

- ★ 栄養教諭との連携を図った食に関する指導の実施(食育タイム・家庭科)
 - 大館ワンだふる給食で地元食材を学んだ食育タイム
- ★ 養護教諭と保健委員会による「手洗いブラックライト体験」の実施、手洗いで注意する部分を具体的に知り、実際の手洗いに生かす
- ★ メディアコントロール週間によるメディアと接する時間調整、就寝時刻の確保
- ★ 学校保健委員会の開催、定期健診の結果について学校医からの助言

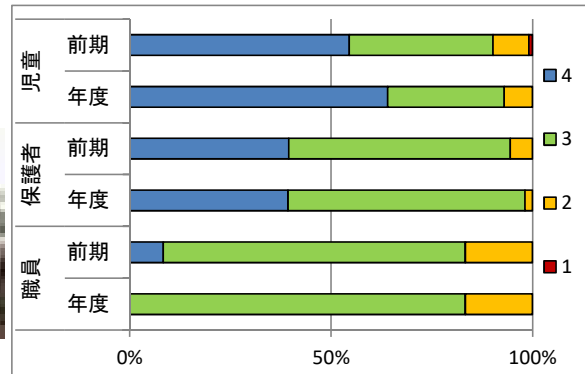


栄養教諭から学ぶワンだふる給食



ブラックライトで手洗いをチェック

- □ 「子供たちに望ましい生活習慣・食習慣が身に付いている。」
- ◎ 「あなたは、早寝・早起き・朝ご飯など、規則正しい生活をしていますか。」



ア 児童の状況

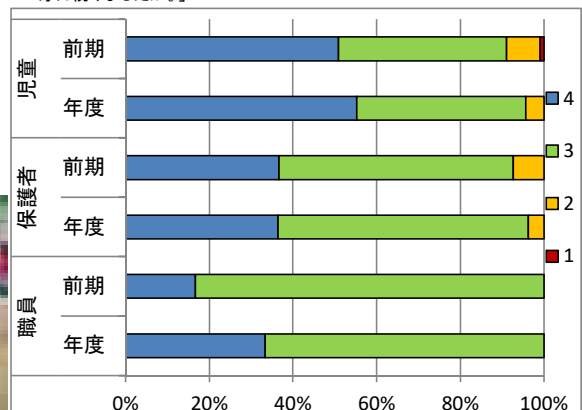
IV 基礎学力

児童の状況	学校評価A		学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	前期	年度	前期	年度	
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させている。	おおむね良好	良好	良好	良好	授業参観では集中している子どもたちが多く、楽しそうに生きていた。基礎・基本的な学力では、百マス計算を毎週やるように力を付けさせてほしい。授業での「つながり」は、1年生から学習ルールが守られていて、楽しそうにやっている。子どものヒアリングからも「話し合いが楽しい」と言っており、「たけのこっ子タイム」はいい取組で学び合いができています。発表する人にきちんとして体に向けて聴くのが自然にできている。日頃から授業で当たり前にやっているから、集会の場でもできる。百マス計算や授業で行っていることが力を付けている。つながりを強めて、学び合いを行っており、アンケートから先生方も子どもたちを認めているところがよい。子どもからのヒアリングでも、授業で他の人の発表に相づちを打つのをがんばっていきたいとの話があり、とても良い状況にある。
【前期(一年度)】○新年度初めに「基本的な学習態度」を重点的に指導し、学習規律の徹底を図りながら、家庭と連携し家庭学習を継続する等、基本的な学習習慣が身に付いてきている。今後も家庭と連携しながら望ましい学習習慣の定着に向けた取組を継続していききたい。○朝学習や繰り返し学習の継続により、基礎・基本的な学力が定着してきている。今後も授業や朝学習等で、学年ごとに必要な学力を確実に身に付けさせたい。○課題解決型の授業では、特に高学年は児童が学習リーダーとなり、友達と話し合いながら、自分たちで解決する授業を行っている。今後も児童がつながりを強めて、主体的に学び合う授業に取り組んでいきたい。					
【年度(一次年度)】○繰り返しの指導で、学習規律が確立され、話し手に体に向けてよく聴き、反応できる児童が増えた。自学も家庭の協力を得ながら継続し、自学ノート1ページびっしり取り組むようになってきた。今後はさらに個々の力がつく自学内容になるよう取り組ませたい。○朝学習では、百マス計算大会も実施し、計算力がついた児童が多くなった。また「パワーアップタイム」を行い、基礎・基本の学力定着を図った。今後は、県学習状況調査やCRT(学力テスト)の結果を考察しながら、補充し学力の向上を図っていききたい。○授業では、児童が共感的・協動的に学び合い、外部参観者からも高い評価をいただいた。今後も児童が主体的な学び合いができるよう「つながる場」の充実を図っていききたい。					

実践課題	主な取組		学校評価B	
	前期	年度	前期	年度
(8) 基本的学習習慣の徹底	・「次代をにう田代の子～学習の約束～」の徹底 ・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化	・意図的計画的な繰り返し指導 ・個に応じた指導の工夫 ・表現力を高める取組	3	4
(9) 基礎・基本的な学力の定着	・基本的な学習スタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのこっ子タイム)の充実 ・学習リーダーの育成		3	4
(10) つながりを強めて、主体的に学び合う学習指導の充実			3	4

【各種データ】 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項
 [8に関するデータ] ■ □ 「子供たちに基本的な学習習慣が身についている。」
 ◎ 「あなたは、授業中、学習の約束をしっかりと守って勉強し、家庭学習も毎日続けましたか。」

★学習指導部・研究部による計画的な取組
 ○「学習の約束」の徹底
 ・「次代を担う田代の子～学習の約束～」と月別重点目標による学習訓練の徹底
 ○家庭学習の習慣化
 ・家庭との連携を図る「家庭学習の手引き」の活用
 ・自学紹介コーナーの設置と自学ノート展の実施
 ・自学花丸デー、自学を見合う会(学団)の設定
 ○学習環境の整備
 ・「話し方・聞き方名人」
 ・「やませっ子学びのスタイル」
 ・「声のものさし」
 ※大阪府交野市小・中学校教諭等15人の視察



[9に関するデータ]

★意図的計画的な繰り返し指導の実施状況
 ○ぐんぐん学習の推進、朝学習の活用
 ・ドリル学習・百マス計算・新聞ワークシート
 ・ミニテスト・百マス計算大会・辞書引きコンクール等
 ○各種テスト、ノートチェック、学習アンケートの実施
 ○個に応じた指導の工夫(算数TT)
 ○表現力を高める取組(やませっ子発表会、各種コンクール作品応募)
 ○パワーアップタイムの実施

年度	学年	国語	社会	算数	理科	結果から見た児童の状況
本校	4年	◎	◎	◎	◎	4年生以上、ほとんどの教科が県平均を上回っており、学力の定着が良好な状況となっている。調査結果の分析に基づいて、理解不十分などの指導を充実させていきたい。
県平均	4年	79.6	68.8	77.8		
本校	5年	◎	◎	◎	◎	
県平均	5年	79.7	63.6	68.4	79.8	
本校	6年	◎	◎	◎	◎	
県平均	6年	84.5	68.1	70.2	77.9	

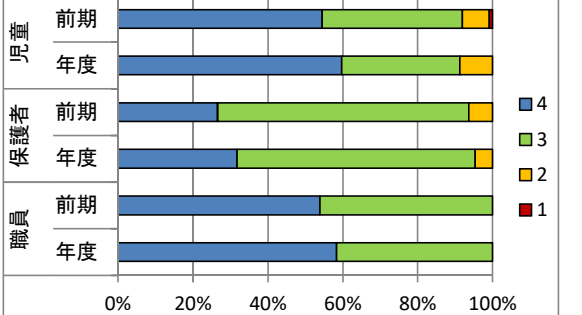
※県平均通過率10%以上上回る◎
 10%未満上回る○

[10に関するデータ] ■ □ 「主体的に学び合う学習指導が充実している。」
 ◎ 「あなたは友達発表を聞きながら、自分の考えを進んで発表することができましたか。」

★「主体的に学び合う学習指導の充実」を目指した取組
 ○つながる場(たけのこっ子タイム:授業での話し合い・学び合いの場の設定)
 ○学習リーダーの育成



※一人が説明、一人が板書するペアによる発表(つながる場)



イ
学校運営
の状況

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	学校評価	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	学校評価	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	学校関係者評価	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	学校関係者評価	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	学校関係者評価	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 安全・安心

学校の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	前期	良好	良好	学校から「こまや旅館」付近に横断歩道設置の要望を市教育委員会にしているのは有り難い。子どもたちは、夏休み中もみんなヘルメットをかぶって自転車に乗って安全意識が高い。先生方の評価が厳しい感じもする。子ども110番の家が機能しているのはよい。
	年度	良好	良好	避難訓練での煙体験は、視界の悪い中を避難しい体験ができた。集団登校では、子どものヒアリングで班長として、時間通りに学校に着けないという心配をしていた。登校中、おしゃべりや班長の指示に従わないなどは安全に関わってくるので指導をお願いしたい。ゾーン30の道路でもスピードを出す車があるので、駐在の人に新学期協力してもらいたい。地域とのつながりが良いので、安全面でも地域との協力関係が良い状況である。

善要学 【前期(→年度)】〇集団下校指導や交通安全教室、避難訓練等で、具体的な安全指導を実施してきた。今後も特に道路に飛び出しをしない、安全な自転車走行をしつかりできるよう、集会等を活用しながら指導を継続していく。〇PTA生活環境部やスクールガードリーダー、民生委員等の関係機関と連携しながら、安全な環境づくりに努めてきた。今後も児童や保護者、地域の安全に関する声を聞きながら、熊対策も含めて児童の安全確保に取り組んでいきたい。

校の改概 【年度(→次年度)】〇火災の避難訓練では、煙体験も行い、火災での避難の仕方を具体的に学ぶことができた。集団登校については、特に遠距離班を中心に歩き方を指導してきたが、班長が欠席時の連絡方法が不十分であったため、班長から副班長へ連絡する対応に改めた。〇後期もPTA生活環境部やスクールガードリーダーによる交通安全街頭指導等により、全校児童が事故なく安全に登下校し、自転車事故もなくとてもよかった。今後も特に冬道の危険箇所について、情報を収集しながら早めに対応、安全確保に努めていきたい。

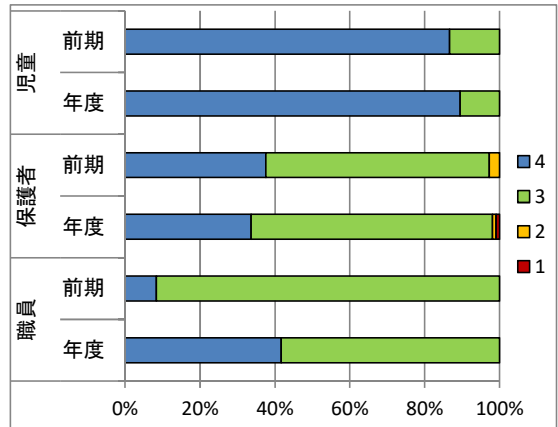
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団登校指導、避難訓練(火災)、煙体験教室の実施 ・「すこやか通信」の発行 ・地区児童会	4	4
	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携 ・危険箇所看板設置、街頭指導	4	4

【各種データ】 職員 保護者 児童 実践事項

【11に関するデータ】 「子供たちに安全への意識が育っている。」
「あなたは学校の行き帰り、ルールを守って安全に歩くことができましたか。」

【取組の具体例】★安全意識の高揚 「あなたは学校の行き帰り、ルールを守って安全に歩くことができましたか。」

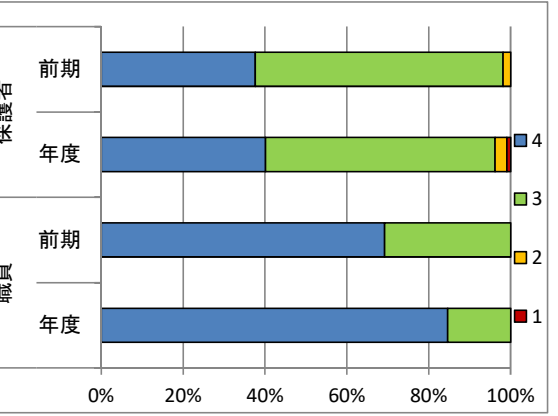
- 〇通学路の歩き方と危険箇所の確認
 - ・集団登校指導で歩き方、危険箇所の確認、職員による冬道点検
 - ・安全意識を高める集会での指導(定例会・長期休業前集会)
- 〇交通事故対策
 - ・自転車の乗り方、範囲の確認、地下道の利用、冬季の自転車禁止等
- 〇避難訓練
 - ・火災想定避難訓練 10月31日～火災発生時の避難の仕方
煙体験教室(煙の中での避難の仕方を学ぶ～田代消防署指導)
 - ・昼休みの地震発生時避難訓練 2月16日～休み時間中の避難の仕方
- 〇生徒指導部だより「すこやか通信」の発行
 - ・外出時の注意、感染対策
 - ・自転車乗りについてのお知らせ
 - ・夏休みの暮らし方
 - ・集団登校の確認とお願い
 - ・冬休みの暮らし方
 - ・「次代を担う田代の子 自立プラン」への継続的な取組



【12に関するデータ】 「家庭や地域の人々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」

★PTAやスクールガードリーダー等の連携 「家庭や地域の人々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」

- ・PTA生活環境部との定期的な街頭指導の実施、スクールガードリーダーからの登校指導
- ・巡回指導の留意点や最近の状況などについて情報交換
- ・冬季登校時における落雪等の注意喚起
- ・PTA生活環境部による危険箇所の確認と看板設置、撤去
- ・冬道の危険箇所等、市教育委員会との連携
- ・子供110番の家の確認



イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携

児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	良好	情報発信について、学校報は町内回覧がきている。学校からの細かい情報はメールでお知らせしてもらっている。(14)は、いろんな地域の方に助けていただいているので継続してほしい。農園活動の収穫を期待しているが、先生方があまり負担を感じないような取組をお願いしたい。
	年度	良好	良好	先生方が家庭に配慮しながら、おたよりやメール等で情報は発信している。地域とのつながりでは、子どもたちが楽しいと言える行事が多い。特に山田・赤川地区とはつながりが強い。60周年を機会に地域を調べた学習は楽しかったという声を聴いている。継続してほしいが学校の負担もあると思うので、無理なく整理しながら進めてほしい。
と学校 学校評 校評の 価改の 善概 策要	【前期(→年度)】○学校だよりや学級通信を定期的に発行し、学校や児童の様子、行事等での活躍をお知らせしている。また、行事に関わることや緊急連絡は学校からメール配信をしてお知らせしてきた。今後も保護者の不安等をなるべく早く解消できるよう、メール配信を有効に活用していきたい。○今年も地域の「もの・ひと・こと」を活用した体験活動を保護者、地域の皆様のおかげで実施することができた。2学期は農作物の収穫があり、コロナ感染対策をしながら、できるだけ地域の素材、人材を生かしたふるさとキャリア教育を推進していきたい。			
	【年度(→次年度)】○後期も学校だよりや学級通信で、学校や児童の活躍の様子をお知らせしてきた。メール配信では、テレビ放映のお知らせ、やませっ子マート等販売について、コロナ感染に関する注意等と6年生保護者には修学旅行情報を配信した。校内でコロナ感染者が出たら情報を流してほしいという声があったが、プライバシーに配慮しながら保護者へ必要な情報は、メールを有効に活用していきたい。○ふるさとキャリア教育については、地域の協力を得て、収穫した農作物等をやませっ子マートで3年ぶりに6年生が直接販売することができた。また、創立60周年として、学校の歴史や地域の文化財や特色等を学ぶ活動で、地域の方から直接学ぶことができた。これを機会に地域の特色等を学ぶ学習を今後も継続していきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各便りの発行、HP ・行事等におけるメール配信	4	4
	(14) 地域の「もの・ひと・こと」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施	4	4

[13に関するデータ]

■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【取組の具体例】

★学校からの情報発信、情報交換等

○学校だより「やませっ子」の発行と配付、HPでも紹介

- ・毎月発行(学校の出来事、来月行事のお知らせ)
- ・行政協力員との連携による学区内配付

○学年だよりの配付

- ・学年の出来事や次週の予定 等

○保健だより・給食だよりの配付

○行事や緊急連絡等のメール配信

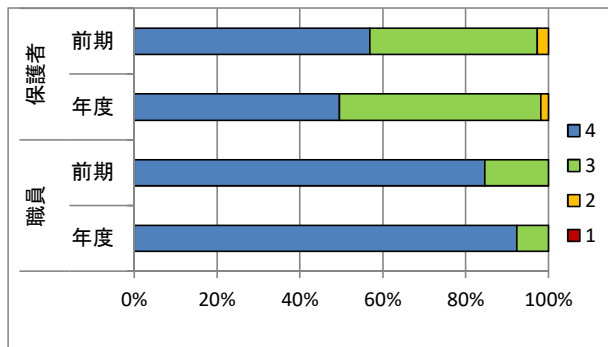
○学校教育アンケートの実施

○PTA活動、スポーツ少年団打合せ等による情報共有

○教育相談等による情報交換

- ・年3回の教育相談週間
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる教育相談
- ・学担による個人面談
- ・各関係機関との連携(北教育事務所、市教委、少年相談センター、児童相談所、子ども課、児童クラブ、民生委員、小・中・保)

■ □ 「定期的、効果的に学校の様子を情報発信している。」



[14に関するデータ]

■ □ 「地域の『もの・ひと・こと』を活用した豊かな教育活動が行われている。」

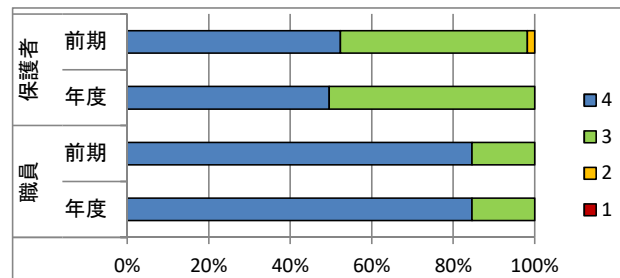
★「もの・ひと・こと」を生かした体験活動の充実

○地域に根ざしたふるさとキャリア教育

- ・「たけのこプロジェクト」を核とした体験活動への支援
- 農園収穫、稲刈り、舞茸栽培と販売、たけのこ和紙作り、クラブ活動、プルタブ・アルミ缶回収、収穫物とたけのこ和紙おしりを販売した「やませっ子マート」

・「60周年記念プロジェクト」の推進

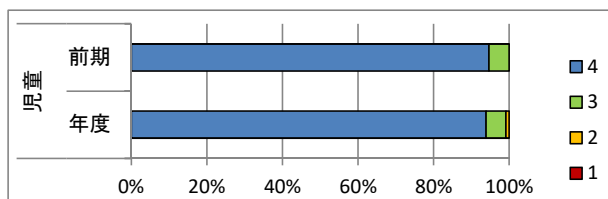
学校の歴史や地域の文化財、地域の特色等を地元の方から学ぶ体験活動、60周年記念やませっ子発表会と60周年記念集会で調べたことの発表、先輩からの講演会



※浅利司先生から山田地区の文化財を学ぶ3年生



◎「あなたは、地域の人やおうちの人などが勉強を教えてください、手伝ってくれたりする授業や体験活動が楽しいですか。」



全体コメント

【 学校関係者評価委員のみなさんにいただいた総評です 】

○ 前期学校評価総評

学校関係者評価委員：浅利道博氏・片岡精子氏・小笠原正人氏・佐藤一史氏

☆児童からのヒアリングでは、きちんと夢を語っており、夢を語れる子はすばらしい。また、下学年をきちんとサポートしている6年生の態度がすばらしい。卒業生がそうだったように年々受け継がれている。

☆整然としている環境や子どもたちが認められているので、落ち着いている。また掲示物から、先生方が文字をきちんと書かせている。

☆先生方の授業がすばらしい。子どもたちはしっかり集中して、本当に楽しんで授業をしている。そういうのが学力向上につながっていると思う。掲示物も充実している。1年生からハンドサインや声で自分の意思を示すことが、6年生まで一貫している。

☆授業中、発表者に対する反応言葉があり、それをやってみようという自己肯定感が上がる。

☆学力面がよいのは先生方のおかげであり、このまま継続をお願いしたい。

☆校舎周りの芝生がきれいで、しっかり管理されている。

★先生方の評価が低いところを今後がんばっていただきたい。

○ 年度学校評価総評

☆ハッピーフェスティバル、低学年から高学年までの終わりの会を全部見たが、低学年でも手を挙げて発表し、聴く姿勢がよい。開店時の6年生も場に合った声の大きさを話していた。学級に「声のものさし」があり、前期で見たが、授業の「たけのっ子タイム」でやっていることが生きている。

☆5年生が地域との交流で、どこもやっていないカヌー体験ができたのはとてもよかった。また、五色湖でできることはすごい。

☆子どものヒアリングで、学校のいいところは紙すきで、和紙を作っているが、本来捨てるたけのこの皮を使っているのが、SDGsです、と答えていたことに感心した。

☆5年生が、4月から6年生になるので、6年生らしい態度になるよう今からがんばりたいと話し、今から心掛けているのはすごいと思った。また、やませっ子発表会は、学んだことが表現できる、今までのがんばりを表現できるのはすごくいい、と話していたこともすばらしい。

☆先生方のヒアリングからも、高学年の姿が、低学年の子どもたちに生かされていることが分かる。

☆「たけのこプロジェクト」といった、低学年から高学年まで関わり、地域とつながりながら子どもたちがすすくと育っていると感じた。このまま順調にいてほしい。

☆高坂さん(校務主事)の環境作り(草刈り、除雪等)がすばらしい。学校がきれいである。

★中には元気のない、聞き取れない声の児童がいると思うので、自信をつけて伸ばしてほしい。